

福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ
(7月16日 午後3時現在)

平成23年7月16日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成23年3月11日、当社・福島第二原子力発電所1～4号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、東北地方太平洋沖地震により、午後2時48分、原子炉が自動停止しました。（3月11日 お知らせ済み）

3月15日午前7時15分、4号機の原子炉が冷温停止状態となり、これにより当所の全号機（1～4号機）が冷温停止となりました。（3月15日 お知らせ済み）

7月16日午後3時現在、1～4号機は冷温停止中です（各号機の状況は別表参照）。

<下線部が新規事項>

○1号機の原子炉冷却材浄化系*が、本日午前11時11分に復旧しました。

原子炉の除熱・冷却は、現在、残留熱除去系（B）で行っていますが、このたび復旧した原子炉冷却材浄化系は原子炉の冷却も期待できることから、冷温停止状態にある1号機の信頼性向上につながるものと考えております。

今後も、冷温停止状態のさらなる信頼性向上を目指し、設備の復旧に取り組んでまいります。

* 原子炉冷却材浄化系

原子炉水中の不純物を除去し水質を維持する系統。定期検査中もしくは原子炉停止中は、炉内の余剰水を排出して原子炉の水位を制御するためにも使用される。

これまでに、4号機（6月4日）と3号機（6月6日）の原子炉冷却材浄化系の復旧が完了している。

○発電所敷地境界に設置されているモニタリングポスト（計7基）のうち、No. 1～5までの5基について、検知感度をより良くするため、計測装置を覆っているカバーの内部やモニタリングポスト脚部の汚れ等を拭き取る清掃作業を実施しました。

（モニタリングポスト清掃作業実績）

- ・No. 1： 7月11日 午後4時5分～午後5時15分
- ・No. 2： 7月12日 午後3時5分～午後4時5分
- ・No. 3： 7月13日 午後4時5分～午後5時
- ・No. 4： 7月14日 午後3時5分～午後3時55分
- ・No. 5： 7月15日 午後3時5分～午後4時

引き続き、各号機のプラント状態の安定化に努めてまいります。

・次回のお知らせは、明日の午後3時を予定しております。

以上

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉停止機能 (止める)	○原子炉自動停止 (3/11 14:48) ○全制御棒全挿入中	○原子炉自動停止 (3/11 14:48) ○全制御棒全挿入中	○原子炉自動停止 (3/11 14:48) ○全制御棒全挿入中	○原子炉自動停止 (3/11 14:48) ○全制御棒全挿入中
原子炉注水・除熱機能 (冷やす)	○残留熱除去系 (B) 運転 (3/14～) ※残留熱除去系 (A) は津波の影響で使用不能 ○冷温停止中* (3/14～)	○残留熱除去系 (B) 運転 (3/14～) ※残留熱除去系 (A) は津波の影響で使用不能 ○冷温停止中* (3/14～)	○残留熱除去系 (B) 運転 (3/12～) ※残留熱除去系 (A) は津波の影響で使用不能 ○冷温停止中* (3/12～)	○残留熱除去系 (B) 運転 (3/14～) ※残留熱除去系 (A) は津波の影響で使用不能 ○冷温停止中* (3/15～)
格納容器 (隔離・除熱) (冷やす&閉じこめる)	○格納容器内での冷却材漏えいなし ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (3/14、100℃未滿復帰) ○格納容器ベント (格納容器内の圧力を低下させる措置) は実施なし	○格納容器内での冷却材漏えいなし ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (3/14、100℃未滿復帰) ○格納容器ベント (格納容器内の圧力を低下させる措置) は実施なし	○格納容器内での冷却材漏えいなし ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (地震発生以前から継続して100℃未滿) ○格納容器ベント (格納容器内の圧力を低下させる措置) は実施なし	○格納容器内での冷却材漏えいなし ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (3/15、100℃未滿復帰) ○格納容器ベント (格納容器内の圧力を低下させる措置) は実施なし
外部電源	受電有	受電有	受電有	受電有
非常用電源	非常用ディーゼル発電機(B) 2号機非常用ディーゼル発電機(B)から受電 3号機非常用ディーゼル発電機(B)から受電	非常用ディーゼル発電機(B)(H)	非常用ディーゼル発電機(B)(H)	非常用ディーゼル発電機(B)(H)
その他 異常等に関する報告	03/11 17:35 原災法第10条特定事象 (原子炉冷却材漏えい (格納容器圧力上昇)) →3/11 18:33 原子炉冷却材漏えいはなかったものと判断			
	03/11 18:33 原災法第10条特定事象 (原子炉除熱機能喪失) →3/14 1:24 残留熱除去系 (B) 起動により復帰	03/11 18:33 原災法第10条特定事象 (原子炉除熱機能喪失) →3/14 7:13 残留熱除去系 (B) 起動により復帰		03/11 18:33 原災法第10条特定事象 (原子炉除熱機能喪失) →3/14 15:42 残留熱除去系 (B) 起動により復帰
	03/12 5:22 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象 (圧力抑制機能喪失) →3/14 10:15 圧力抑制室の水温が100℃未滿となり復帰	03/12 5:32 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象 (圧力抑制機能喪失) →3/14 15:52 圧力抑制室の水温が100℃未滿となり復帰		03/12 6:07 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象 (圧力抑制機能喪失) →3/15 7:15 圧力抑制室の水温が100℃未滿となり復帰
	○原災法第10条特定事象 (敷地境界放射線量上昇 [5μSv/h]) 3/14 22:07 (モニタリングポスト [1])、3/15 0:12 (モニタリングポスト [3]) …福島第一原子力発電所の影響による。 →4/3 9:30以降、福島第二原子力発電所敷地境界における放射線量 (モニタリングポストの値) は5μSv/hを下回って推移。 <参考> 当社ホームページ: モニタリングによる計測状況: http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html			

* : 冷温停止・・・原子炉水の温度が100℃未滿となり安定的に停止した状態。